

組織化された青少年スポーツの実施手順：付録S

注：本文書は頻繁に更新されます。最新版は、ウェブページの日付をご確認ください。

最近の更新：(変更箇所は黄色で強調表示されています)

3/11/22

- 2022年3月12日より、屋内におけるマスクの着用は義務付けられなくなりましたが、屋内で行われる組織化された青少年スポーツのすべての活動には、強く推奨されています。
- 青少年スポーツリーグは、屋内で勤務し、他の人と接触するすべての従業員が自発的に使用できるよう、フィット感のある医療用マスクと高性能マスクを提供する必要があります。
- 定期的なスクリーニング検査は不要になりましたが、中リスクおよび高リスクのスポーツへの参加者には強く推奨されています。

2/17/22

- 屋外におけるマスクの着用は義務付けられなくなりましたが、他者との距離を置くことができない混雑したイベントや、中および高リスクのスポーツへの参加者には引き続き推奨されます。
- メガイベントの参加者の最少人数の基準が、屋内メガイベントの場合は1,000人、屋外メガイベントの場合は10,000人に戻されました。

ロサンゼルス郡衛生担当官命令は、全ての屋内公共施設におけるフェイスマスクの着用を強く推奨しています。より感染力が高く支配的な COVID-19 ウイルスのオミクロン株を考慮し、ワクチン接種の有無に関わらず、屋内でのマスク着用は社会地域における COVID-19 の蔓延を遅らせるために引き続き重要な感染対策となっています。COVID-19 ウイルスのオミクロン株は、過去にロサンゼルス郡 (LAC) で流行したウイルス株よりも簡単に伝播します。

公開されたレポートによると、6 フィート以上離れた場所にいる人への伝染を含む、感染のリスクを増加する要因は、以下を含みます：

- 呼吸時に放出される呼吸器の飛沫、特に非常に細かい滴とエアロゾル粒子を空気中に蓄積させる、換気や空気調和の悪い閉鎖された場所。
- 感染者が身体運動や声を上げる時（例：エクササイズ、叫ぶ、歌う）に放出される、呼吸器の飛沫の放出が増加される場合。
- これらの状況に長時間曝露される場合。

屋内よりも風通しが良いため、ウイルスへの曝露のリスクが低くなる屋外で全てのスポーツアクティビティを行うことが強く推奨されます。

以下は、参加者、コーチ、レフェリー、そして地域の安全性を高め、青少年チーム内と競争中にチーム同士での COVID-19 感染のリスクを軽減するための、青少年スポーツリーグ（学校のスポーツチームを含む）向けの必須条件と最善方法の概要です。以下の推奨事項はロサンゼルス郡に拠点を置くチーム及びスポーツ活動、そして管轄区域外から試合のためにロサンゼルス郡を訪れるチームまたは競技者に適用されます。

十分な COVID-19 診断検査能力と供給のあることを前提として、ロサンゼルス郡を拠点とするチームやリーグに対して、以下に説明するような定期的なスクリーニング検査が強く推奨されます。以下のスクリーニング検査の推奨事項は、検査の可用性とアクセスに基づいて変更される場合があります。さらに、これらの推奨事項は、ロサンゼルス郡公衆衛生局（LACDPH）が地域におけるかなり多くの、または高い感染率を報告している間は有効とされ、地域での感染率が中程度か低レベルに達した際に再度評価が行われます。

本情報に加えて、以下の点に注意してください。

- ❑ 青少年スポーツリーグは、[ロサンゼルス郡衛生担当官命令](#)及び[ロサンゼルス郡 COVID-19 青少年レクリエーションスポーツプログラムに於ける感染管理計画のガイダンス](#)に準拠する必要があります。
- ❑ コーチ、レフェリーやその他のサポートスタッフを雇用する青少年スポーツリーグも、[Cal/OSHA の COVID-19 予防緊急一時基準 \(ETS\)](#) に準拠する必要があります。
- ❑ 売店を運営する青少年スポーツリーグは、[ロサンゼルス郡公衆衛生局の飲食サービス向けベストプラクティスのガイダンス](#)を確認し、それに準拠する必要があります。

必ず雇用者向けの一般的なガイダンスを読み、それに従ってください。

以下のベストプラクティスは、一般的なガイダンスを補足することを目的としています。

参加者、コーチ、スタッフ、観客向けのマスク規則に従う

- ❑ 各状況に基づいたマスク着用のルール。マスクを着用することは、COVID-19 の原因となるウイルス、SARS-CoV-2 の拡散を軽減します。ワクチン接種の状況に関わらず、屋内では、コーチ、スタッフ、ボランティア、審判、役員、観客は常にマスクを着用することが強く推奨されます。
- ❑ 参加者：屋内にいるときは、ワクチン接種状況に関係なく、すべての参加者がマスクを持参して着用することが強く推奨されますが、必須ではありません。実際に練習、調整、競争、パフォーマンスを行っていない参加者は、屋内ではマスクの着用が強く推奨されます。サイドライン、チームミーティング、ロッカールームやウェイトルームの中でも、屋内ではマスクの着用が推奨されます。屋内のスポーツの練習、調整、競技をする場合、激しい運動中であっても参加者は可能な限りマスクを着用することが推奨されます。引き続きマスクを着用することを選択した参加者は、プレー中にマスクが濡れたり汚れた時のために、練習や試合には複数のマスクを持参してください。汗で濡れたマスクは直ちに交換しましょう。

米国小児科学会によると、「エクササイズ中のフェイスマスクの着用は、ほとんどの人が許容できています。」とのことですが、以下の状況ではマスクを着用しないでください。

- ウォータースポーツ：水泳、水球、ダイビングなど、屋内でのウォータースポーツに参加している人は、水中にいる際と水中にダイブする準備中に、フェイスマスクを取り外すことができます。水中にいない場合は、フェイスマスクの着用が強く推奨されます。

- **体操競技**：器具を使用して練習や演技をしている体操選手は、マスクが器具に引っかかり窒息する恐れや、目を痛めるという理論上の危険性があるため、マスクを取り外すことができます。体操選手が器具を使用して練習や演技をしていない間は、マスクの着用が強く推奨されます。
 - **チアリーダー競技**：回転、スタント、跳躍などが関わるパフォーマンスや練習を行うチアリーダーは、マスクが器具に引っかかり窒息する恐れや、目を痛めるという理論上の危険性があるため、マスクを取り外すことができます。
 - **レスリング**：レスリングで対戦相手と接触中にマスクで窒息する恐れがあるため、大人のコーチや役員が安全のために注意して監視している場合を除き、マスクの着用は推奨されません。
- **観客**：ワクチン接種状況に関係なく、屋内にいるときはすべての顧客がマスクを持参して着用することが強く推奨されます。マスクを必要とする人が利用できるようマスクを用意することを検討してください。
- **コーチ**：屋内で激しい身体活動をしている場合でも、ワクチン接種状況に関係なく、屋内にいるときはすべてのコーチがマスクを持参して着用することが強く推奨されます。
- **レフェリーとその他の競技役員**：レフェリーと役員は、屋内でワクチン接種の有無に関わらず、マスクを持参して常時着用することが強く推奨されます。

従業員：青少年スポーツリーグでコーチやその他のサポートスタッフを雇用している場合、雇用主は共有する車内を含む職場や施設の屋内で他者と濃厚接触する従業員が自主的に使用できるよう、よくフィットする医療マスク、及び N95 や KN95 などの高性能マスクを提供する必要があります。企業や組織向けの無料または低コストの個人用保護具（PPE）の詳細については、

<http://publichealth.lacounty.gov/docs/FreeAndLowCostPPE.pdf> を参照してください。

ワクチン接種を受ける

- 5 歳以上のすべてのアスリート、コーチ、チームスタッフは、ワクチン接種を完了していること、そして対象となる場合には COVID-19 に対するブースター接種を受けることが強く推奨されます。5 歳以上の人は、COVID-19 の原因となるウイルスに対するワクチン接種を受けることができます。ブースター接種は 12 歳以上の全ての人を受けられます。ワクチン接種は、COVID-19 感染症への負担を軽減し、地域社会のすべての人々を保護するための主要戦略です。青少年スポーツリーグ内のすべてのアスリートとスタッフがワクチン接種を完了し、対象になり次第ブースター接種を受けることで、チームメイト間およびチーム間でのウイルス感染のリスクが大幅に減少し、重症化、入院や死亡を防ぐための優れた保護が提供されます。また、現時点で受けられるワクチンの接種を全て完了して¹いる成人と、ワクチン接種を完了している青少年は、症状が無く、検査で陰性である限り、COVID-19 感染者と濃厚接触しても待機する必要がないため、チーム活動を中断する状況も減少します。

¹ 「現時点で受けられるワクチンの接種を全て完了している」とは、COVID-19 ブースター接種の対象になった際にブースター接種を受けた、またはまだブースター接種の対象ではないが COVID-19 ワクチンのプライマリーシリーズを完了していることを意味します。
[ワクチン接種対象の概要](#)をご覧ください。

- ❑ 青少年スポーツリーグ、チームの運営者、またはコーチは、すべてのアスリートとスタッフ/コーチ/ボランティアのワクチン接種状況の記録を保管する必要があります。ワクチン接種完了を示す証明書のコピーを保管する必要はありません。

症状のスクリーニングを行い、隔離する

- ❑ 青少年のスポーツ活動に参加する前に、参加者と家族に COVID-19 の症状について自己スクリーニングするように要請します。
- ❑ [標識](#) を掲示して、すべての人に、COVID-19 の症状がある場合、もしくは隔離または待機命令を受けている場合は施設内に立ち入らないように促してください。
- ❑ 青少年スポーツプログラムは、COVID-19 の症状のある参加者、コーチ、または観客を除外または隔離する必要があります。
 - 青少年スポーツ活動中に COVID-19 症状を示し始めた参加者を、他の参加者、コーチ、観客から隔離するための措置を講じます。
 - COVID-19 の症例が確認された場合、[LACDPH の職員](#)、スタッフ、および家族に直ちに通知してください。
 - 14 日間に 4 件かそれ以上の疫病的に関連したアウトブレイクが起きた場合、いかなる青少年スポーツチームも、活動を再開する前に、全てのチーム活動を 7 日間一時停止し、公衆衛生局から承認を受ける必要があります。チームの全ての人々が、適応する個人的な隔離、または待機命令に完全に従う場合、個人的な調節とスキル構築活動は、一時停止期間中に続行することも可能です。

特に屋内での混雑を減らす

- ❑ 可能な限り COVID-19 感染のリスクがはるかに低い屋外で青少年スポーツ活動を行ってください。
- ❑ 青少年スポーツ活動を屋内で行う必要がある場合は、屋内エリアの参加者、コーチ、観客の数を減らすための措置を講じてください。
- ❑ 物理的距離の実行は感染管理のベストプラクティスであり、COVID-19 の蔓延を軽減する追加の安全対策です。練習中は、参加者やコーチングスタッフ間の持続的な直接接触を伴わない活動を奨励し、屋内環境でのそのような活動を制限します。代わりに、スキル構築活動に焦点を当てることを検討してください。
- ❑ 常にトイレやロッカールームを使用する参加者の人数を制限してください。
- ❑ チームの食事会やその他の社交活動など、運動以外のチームの行事は、間隔を取ることのできる屋外で開催できる場合にのみ行ってください。

定期的な COVID-19 のスクリーニング検査

COVID-19 の原因となるウイルスは、ワクチン未接種者に感染する可能性が高いものの、ワクチン接種を完了している²青少年スポーツリーグメンバーにも感染する可能性があります。感染していれば誰でも、ウイルス

² 以下は「ワクチン接種を完了している」証明として許可されるものです：1)参加者の写真付きの ID と 2)ワクチン接種カード（ワクチン接種を受けた人の名前、接種された COVID-19 ワクチンの種類、最後に接種を受けた日付が含まれる）、または参加者のワクチン接種カードの写真、または携帯電話

を他の人に感染させる可能性があります。感染者を正確に特定し、迅速に隔離するための1つの戦略として、PCRなどの核酸増幅検査（NAAT）または抗原（Ag）検査を使用したCOVID-19の定期的な定期スクリーニング検査が挙げられます。利用可能な検査の種類を含む検査に関する一般的なガイダンスと推奨事項は、[患者向け検査情報](#)ページから入手できます。

- 過去 90 日以内に検査機関で確定した COVID-19 感染から回復/隔離を完了した証明書を提示する人は、無症状の場合、定期的な COVID-19 スクリーニング検査に含めないでください。過去に COVID-19³に感染したことがあるワクチン接種未完了者に対するスクリーニングは、症状が初めて現れた日、または（無症状の場合）初めて陽性と判定された検査の検体採取日の 90 日後から開始する必要があります。
- いずれかの青少年スポーツチームで確定症例が特定された場合は常に、[青少年スポーツ向け感染管理計画](#)に記載されている指示事項に従い、ワクチン接種を受けていないすべての濃厚接触者を、症状のあるワクチン接種を受けている濃厚接触者とともに[待機](#)させるようにします。
- 青少年スポーツリーグ、チーム運営者、またはコーチは、すべてのアスリートとスタッフ/コーチ/レフェリー/ボランティアのワクチン接種状況、及び COVID-19 症例に晒された後に行われた検査の記録を保持する必要があります。ワクチン接種完了を示す証明書や検査結果のコピーを保管する必要はありません。

ロサンゼルス郡でかなり多くの地域感染が発生している現在、以下の検査の[ガイドライン](#)は、参加しているすべてのアスリートとスタッフ/コーチ/レフェリー/ボランティアに[強く推奨](#)されます。COVID-19 に対するワクチン接種を完了していると証明できる青少年の参加者で、屋内においてマスクなしでプレーをしておらず、また、マスクを着用していないチームメイトともプレーしていない、または過去 90 日以内に検査機関で確定した COVID-19 感染から回復/隔離を完了した証明書を提示する人は、無症状の場合、定期的な COVID-19 スクリーニング検査に含めないでください。COVID-19 に対する現時点で受けられるワクチン接種を全て済ませていることを証明できる、または 90 日以内に検査機関で確定した COVID-19 感染から回復/隔離を完了した証明書を提示する成人の参加者（例：コーチ、サポートスタッフ、職員、ボランティア）は、無症状の場合、定期的な COVID-19 スクリーニング検査に含めないでください。上記の年齢層を基にした必須条件を満たさない人や、以前に COVID-19 に感染していた人は、症状が初めて現れた日、または（無症状の場合）初めて陽性と判定された検査日から 90 日間は、スクリーニング検査を[行う必要はありません](#)。どのスポーツがどのリスクカテゴリーに属するかの例については、以下の表を参照してください。

1. **全年齢層の子供及びスタッフ/コーチ/ボランティア向けの屋内での中リスクまたは高リスクのスポーツ**。競技をする子供やスタッフ/コーチ/ボランティアを含む、ワクチン接種を完了していない青少年の参加者と現時点で受けられる全てのワクチン接種を済ませない成人の参加者は、毎週、陰性証明書を提示することが[強く推奨](#)されます。自宅でできる自己検査や検査結果の自己確認を

や電子デバイスに保存されている参加者のワクチン接種カードの写真、または医療従事者によるワクチン接種を完了しているとの書類（これにはワクチン接種を受けた人の名前と、参加者が COVID-19 に対するワクチン接種を完了していることを証明する事項が含まれる）。この手順の目的として、次の場合に COVID-19 に対する「ワクチン接種を完了している」と見なされます：Pfizer や Moderna などの 2 回接種の COVID-19 ワクチンシリーズの 2 回目の接種を受けてから 2 週間以降、または Johnson & Johnson (J&J) / Janssen などの 1 回接種の COVID-19 ワクチンを受けてから 2 週間以降、または、世界保健機関から緊急使用を承認されているリストに載っている COVID-19 ワクチンシリーズ（例：AstraZeneca/Oxford）を完了してから 2 週間以降。世界保健機関によって承認されている COVID-19 ワクチンの詳細は、世界保健機関の[ウェブサイト](#)をご覧ください。

³ 過去の COVID-19 感染（以前のウイルス検査結果が陽性）及び過去 90 日以内の隔離の完了の証明として認められるものは以下の通りです。写真付き身分証明書、及び、前日 10 日間を除く、過去 90 日以内に実施された COVID-19 抗原検査または PCR 検査で陽性を示す書類のコピー、もしくは携帯電話または電子機器に保存したデジタルコピー。参加前に、[隔離要件](#)を完了している必要があります。

含む、市販の検査キットによる結果も、検証済みかどうかに関わらず、青少年のスポーツ選手と職員ではない成人に対して受け入れられます。現在の Cal/OSHA の職場での COVID-19 予防に関する緊急一時標準 (Cal/OSHA ETS) によると、従業員に提供される必要のある検査は、雇用主が認定された遠隔医療提供者がその手順を監督または観察する場合に限り、自己検査や検査結果の自己確認ができる市販の検査を含むことも可能です。プレーヤーがマスクを着用せずに参加することを許可され、それを選択した場合、ワクチン接種の状況に関係なく、すべてのチームメンバーに対し少なくとも毎週 COVID-19 のスクリーニング検査を実施することが強く推奨されます。

2. 12 歳以上の青少年及びスタッフ/コーチ/ボランティア向けの屋外での中リスクまたは高リスクのスポーツ。競技をする 12 歳以上の子供やスタッフ/コーチ/ボランティアを含む、ワクチン接種を完了していない青少年の参加者と現時点で受けられる全てのワクチン接種を済ませていない成人の参加者は、毎週、陰性証明書を提示することが強く推奨されます。自宅でできる自己検査や検査結果の自己確認を含む、市販の検査キットによる結果も、検証済みかどうかに関わらず、青少年スポーツ選手と職員ではない成人に対して受け入れられます。現在の Cal/OSHA の職場での COVID-19 予防に関する緊急一時標準 (Cal/OSHA ETS) によると、従業員に提供される必要のある検査は、雇用主が認定された遠隔医療提供者がその手順を監督または観察する場合に限り、自己検査や検査結果の自己確認ができる市販の検査を含むことも可能です。

- ❑ バス/バンで定期的と一緒に移動する 12 歳以下の中リスクや高リスクのスポーツチームに参加する選手は、毎週、陰性証明書を提示することが推奨されます。
- ❑ 複数の郡から複数日行われる中リスクや高リスクの屋外でのスポーツ競技に参加する選手が 12 歳未満の場合、競技会の最初のゲーム前の 3 日間のウィンドウ期間⁴内に検査を受け、陰性であることが推奨されます。
- ❑ 屋外スポーツチームの選手、コーチ、および/またはスタッフの間で陽性の症例が発生した場合は、すべての選手、スタッフ/コーチ/ボランティア（ワクチン接種の状況に関係なく）が感染者に接触してから 2 週間は毎週検査を受けることが強く推奨されます。
- ❑ 選手、コーチ、その他のスタッフと直接接触する役割や機能を持たないチームスタッフ/ボランティア（例：チームやリーグの運営の援助をしているが青少年やその他のチームメンバーと直接作業をしない人）は、これらの検査の推奨事項から免除されます。
- ❑ 選手、コーチ、その他のスタッフと直接接触することが非常に制限されている一時的なボランティア（例：シーズン中に 1 度か 2 度しかその役割を果たさないボランティアレフリーや審判）に対する毎週のスクリーニング検査を行う必要はありませんが、COVID-19 に対する現時点で受けられるワクチン接種を全て済ませていることの証明、またはボランティア活動の 3 日前以内に行われた検査の陰性証明を提供することが強く推奨されます。

換気する

- ❑ 青少年スポーツ活動を屋内で行う場合は、建物の暖房、換気、及び空調 (HVAC) システムが正常に機能していることを確認してください。

⁴ 3 日間のウィンドウ期間とは、チーム対抗競技会の 3 日前のことです。72 時間ではなく 3 日の時間枠により、選手やスタッフへの柔軟性が高まります。3 日間のウィンドウ期間を使用することにより、検査の有効性は、競技の時間や検査が実施された時間に依存しません。たとえば、競技が金曜日の午後 1 時に行われる場合、選手またはスタッフは、その前の火曜日以降に受けた検査で陰性であれば競技に参加することができます。

- ポータブル高効率空気清浄機の設置、建物の空気フィルターを可能な限り最高効率のものへアップグレード、外気量を増やしすべての作業エリアの換気を増やすためにその他の変更を加えることを検討してください。
 - 天候や労働条件が許す場合、窓やドアを開けて外気を増やします。扇風機を使用して、開放した窓の効果を高めることを検討してください。窓に扇風機を設置して、空気を内側ではなく外側に出します。
 - 屋内での活動を行う場合、体育館の換気を改善することは、ウイルス感染のリスクを軽減し、高リスクの競争的プレーの結果としてのアウトブレイクのリスクを軽減するために非常に重要な戦略です。床レベルで空気循環を改善するように戦略的に扇風機を使用することは、このリスクを軽減するために重大な影響を与えるでしょう。さらなるガイドは、[体育館の換気の最善方法](#)をご覧ください。
 - 屋外の換気を増やすことができない場所では、収容人数を減らしてください
 - チームまたは青少年スポーツリーグがバスやバンなどの搬送車両を利用する際、安全な場合は窓を開けて外気の流入を増やすことが推奨されます。
- 州の[屋内環境に於ける換気、空気濾過、及び空気質に関する暫定的なガイダンス](#)及び CDC の[学校および児童ケアプログラムにおける換気](#)をご覧ください。

手洗いを支持する

- 手洗いステーションまたは手指消毒剤を入口と屋外の共同トイレに設置し、使用を促す標識を掲示します。
- 頻繁な手洗いを奨励します。

コミュニケーションを図る

- 施設を訪れる来訪者に、すべての人に対する屋内でのフェイスマスク着用の[強い推奨](#)を含む、その場での方針を通知する[標識](#)を[掲示することを検討してください](#)。
- オンラインによる発信を使用して、COVID-19に関する安全方針を一般市民に伝えることができます。

遠征試合と複数チームの参加するトーナメントに関して追加の予防措置を講じる

- 同一世帯以外の青少年スポーツチームのメンバーと一緒に車で移動する場合、移動中は常にマスクの[着用が強く推奨されています](#)。窓は開けたままにしておきましょう。これには、自家用車で相乗りする場合も含まれます。
- イベントのためにロサンゼルス郡外を旅行する場合は、[旅行勧告とガイダンス](#)を遵守してください
- 宿泊を伴う旅行をする場合、同一世帯以外のチームメンバーは異なる部屋に宿泊し、他のメンバーのホテルの部屋を訪ねる場合は常にマスクを[着用](#)することが推奨されます。
- 他のチームとの交流は控えましょう。

パンデミック中のスポーツに関連するリスクを理解する

ゴルフやシングルのテニスなどの、競争相手から 6~8 フィートの距離を保つことのできるスポーツや身体活動は、バスケットボールやレスリングなどの、頻繁な濃厚接触を必要とするスポーツよりも低リスクです。クロスカントリーなどの、選手が器具を共有しないスポーツは、フットボールなどの、選手が器具を共有するスポーツよりも低リスクです。他の選手との接触が制限されている選手は、より安全となります。例えば短距離競争などは、他の選手と長時間（試合時間の半分など）濃厚接触をするスポーツよりも低リスクです。

選手が訓練、練習、競技を行う特定の場所もリスクに影響を及ぼします。可能な限り、スポーツやクラスを屋外の施設で行うようにしましょう。COVID-19 は換気の悪い閉鎖された屋内で拡散する可能性が増加します。バスケットボールなど、特にスポーツや身体活動が、濃厚接触、器具の共有、他の選手との接触を含む場合、屋内でのスポーツは感染リスクが高くなります。

より多くの人と接触すればするほど、COVID-19 への曝露の機会が増加します。他のチーム、コーチや指導者達と混ざり合うよりも少人数のチーム、練習グループ、またはクラスで共に活動する方が安全です。こうすることで COVID-19 の感染発生があった場合でも各個人に連絡しやすくなります。

遠征の多いチームより、地域内で行われるものに参加する方が安全です。COVID-19 の症例が多い地域に行くと、感染や拡散のリスクを高める可能性があります。遠征の多いスポーツは、他の選手との交流もあるため、一般に選手がより多くの人と接することになります。

表 1. リスクレベルで層別されたスポーツの例

低リスク	中リスク	高リスク
<ul style="list-style-type: none"> • アーチェリー • バドミントン（シングル） • バンド • サイクリング • ボッチ • ボウリング • コーンホール • クロスカントリー • カーリング • ダンス（接触なし） • ディスクゴルフ • ドラムライン • 一度に1名のみが参加する乗馬イベント（ロデオを含む） • ゴルフ • 体操 • アイススケートとローラースケート（接触なし） • ローンボウリング • 武道（接触なし） • 体カトレーニング（例：ヨガ、ズンバ、太極拳） • ピックルボール（シングル） • ボート/クルー（1名） • ランニング • シャッフルボード • スキート射撃 • スキーとスノーボード • スノーシューイング • 水泳とダイビング • テニス（シングル） • 陸上競技 • ウォーキングとハイキング 	<ul style="list-style-type: none"> • バドミントン（ダブルス） • 野球 • チアリーディング • ダンス（断続的な接触） • ドッジボール • フィールドホッケー • フラッグフットボール • キックボール • ラクロス（女子） • ピックルボール（ダブルス） • スクワッシュ • ソフトボール • テニス（ダブルス） • バレーボール 	<ul style="list-style-type: none"> • バasketボール • ボクシング • フットボール • アイスホッケー • アイススケート（ペア） • ラクロス（男子） • 武道 • ローラーダービー • ラグビー • ボート/クルー（2名以上） • サッカー • 水球 • レスリング